

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和5(2023)年12月13日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「先日、警察航空隊を視察した。概要説明の後、新しい施設と県警ヘリ「ぎんが」を視察し、その後実際に搭乗して、上空から、雪山登山者の足跡の有無や地上の人や車両の見え方などを実際に確認することができたほか、飛行の安定性が非常に高いことも実感できた。「ぎんが」は、今年も被疑者の検索や植樹祭の警衛警備、逃走車両の追跡、行方不明者の捜索でも活躍しているとのことであったが、近代的な警察活動には欠かすことのできない機材であり、パイロット、整備士も正に専門職であり不可欠だと思うので、引き続き大切に育成していただきたいと感じた。来週には、年末年始特別警戒活動の実施式が予定されており、いよいよ年の瀬を迎えます。警察を始めとする危険業務従事者の特別さは、いつ起こるともしれない事件事故に備えて、年末年始といえども緊張感を持ち続けなければならないところだと思う。人が休むときに休まず、何かあったら駆けつけなければならないその献身さには本当に頭が下がる思いである。経験上、若いころには、人が休むときに仕事をしていることに対する特別感や責任ある立場に就いたことに伴う「よし、やってやる」という一種の高揚感があったが、何年か経つと、周囲との比較の視点が出たり、家族の強い要求などが出たりなどして、頼むから特別なことが起こらないで欲しいと願うような気持ちで過ごしたことが思い出される。先週も殺人事件が発生し、本部が立ち上がったが、このまま経過すると、ちょうど年末年始を挟むことになるかもしれない。しかし、長期化してしまうと、関係者や住民の不安は解消されないこととなるので、早期に解決して欲しいとともに、少し時期がずれたとしても、捜査関係者が必要な休息が取れる状況になって欲しいと思う。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和6年岩手県警察初点検について

警察本部から、「令和6年岩手県警察初点検は、令和6年1月10日午後1時30分から、盛岡城跡公園で実施する。荒天等の場合は初点検を中止し、警察本部において、本部長年頭訓示を実施する。」旨の報告があった。

○ 警察あて苦情の受理・処理状況について（令和5年10月末現在）

警察本部から、「警察あて苦情の受理・処理状況について、本年10月中の受理は6件で、内容は警察官等の言動に関するもの、パトカー等の走行等に関するもの等であった。10月中における処理は3件であった。」旨の報告があった。

【生活安全部議題】

○ 年末年始における特別警戒活動の実施について

警察本部から、「年末年始特別警戒活動については、年末年始の事件・事故の未然防止を目的として、12月15日から1月3日までの間で実施する。期間中の主な取組としては、顕示的な活動の推進、検挙活動の推進、関係機関等との連携と広報啓発活動の推進を柱として、県内各地域における諸行事等を踏まえながら、事件事故の未然防止に資する活動を推進していく。特別警戒活動出発式については、12月15日午後4時30分から、盛岡東警察署5階大会議室において、防犯隊、少年警察ボランティア等の防犯ボランティア団体とともにを行い、終了後、繁華街等の警戒活動を実施する。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「県職員による飲酒運転の報道があり、とても残念に思っていた。今年は、コロナが落ち着き、人出が増えるという予想も出ており心配している。そのような意味では、事前の顕示的活動というのは本当に大切になってくると思う。取締りも強化するなどして、年末年始で悲しい思いをする人達がでないようにしてほしい。」

【交通部議題】

○ 「令和5年度冬の交通事故防止県民運動」の実施について

警察本部から、「運動期間は12月15日から24日までの10日間となる。冬季は積雪や凍結による道路環境の悪化に伴う交通事故や冬休み中の子どもが関係する交通事故の発生が懸念されることから、交通ルールの遵守と交通マナー実践により、交通事故防止の徹底を図るものである。運動重点は、冬道用タイヤ装着の徹底、高齢者と冬休み中の子どもの交通事故防止、スピードダウンの徹底、飲酒運転の根絶の4点で、「なにで来た？」乾杯前の合い言葉が運動のスローガンとなる。昨年、一昨年と12月中旬以降に死亡事故が連続で発生している状況から、期間中は目立つ街頭活動及び交通指導取締りを強化し、死亡事故抑止に繋げていく。また、運動期間中は、各署において関係機関・団体と連携した街頭活動や広報啓発活動を計画しているほか、本運動は、年末年始における特別警戒活動期間中に実施されることから、これと連動した活動に配慮し推進していく。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 航空隊整備士部内選考考査の実施結果について

警察本部から、「航空隊整備士部内選考について、面接による考査を実施し、その結果、2名を候補者として選考した。」旨の報告があった。

《 委員質疑 》

「これから6年かけて育てることとなるが、選考はこれで終わりとなるのか。毎年

の募集となると難しいと思うが、何らかの事情で資格を取れない可能性もあり、後継者を育成していく上では様々な想定が必要ではないかと思う。」

→本部説明

「今後継続するかどうかについては検討中である。」

《 委員発言 》

「航空隊だけではないが、専門職はなかなか異動という話にはならないが、ずっと同じ場所で勤務しなければならないこのような方々に時々スポットライトを当てて、刺激を与えていかないとモチベーションはなかなか上がらないと思う。航空隊の新しい基地を視察した際、整備士の方が一つ一つ分かるように部品を整理し、数のチェック等をしているのを見て、そのプロ意識に本当に頭が下がる思いがした。そのような活動や活躍する姿を広く知らしめて、その方々の功績を認めてもらう場を作っていかなければいけないと思う。」

■個別会議

○ 警務課

令和5年県議会12月定例会の概要についての説明

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 県民課

令和5年度岩手県警察署協議会連絡会（代表者会）の開催についての説明、決裁

○ 組織犯罪対策課

機関誌への投稿についての説明、決裁

○ 監察課

岩手県公安委員会を被告とする運転免許取消処分執行停止申立事件に係る求意見書への対応についての説明、決裁

○ 総務課

機関誌への投稿についての説明、決裁

公安委員会あて苦情の処理についての説明、決裁